

第 24 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会 (ホール審査) 総評 ショパニスト B 部門

●審査員 A

- ・参加者全員が誠実に作品に向き合っている点に感心しました。
- ・調の変化をしっかりと捉えて表現につなげて欲しいです。
- ・より多彩なタッチ、奏法を身につけることを常に目標として持って日々の練習に臨まれると良いと思います。
- ・自らの出した音をその音の響いている間、ずっと聴くように心がけてください。
- ・カンタービレを強く意識して弾くことも大切です。

●審査員 B

1. よく考えて曲を選択すること。若いピアニストの方にとっては、ショパンの初期の作品のほうが、理解しやすいと思います。初めて取り組むショパン作品が幻想曲へ短調やバラード第4番、舟歌とならないようにしましょう。
2. どのような感情を表したいのか、演奏する曲の主要な性格は何なのかということをお問ひしましょう。
3. 曲の構成、和声（長調・短調、減和音、そしてそれらの関係性）、クライマックス、終止形を分析しましょう。
4. 音符だけでなく、休符、ブレス、テンポ、強弱、アーティキュレーション記号、その他作曲家が残した指示などを含め、楽譜を細かく読み込みましょう。
5. ルバートを乱用しないこと。ルバートする際も、作品の基本の拍感を感じましょう。
6. 特にショパンが長いカンティレーナの旋律を書いている部分でフレーズが細切れにならないように気をつけましょう。
7. ペダルを乱用ないように、また和声の移り変わりがモーツァルトの音楽のようにクリアに聴こえるようにしましょう。
8. 休符も音楽の重要な一部だということを忘れないように。
9. フィンガーレガートも忘れないように。初めはペダルなしで、できるだけ指だけで繋げる練習をしましょう。
10. 旋律を声楽的に捉え、どの音も始まりから終わりまでしっかり聴くようにしましょう。
11. バスラインを含めた伴奏形を聴くことも忘れないようにしましょう。
12. 各声部のバランスにも気を配りましょう。
13. 解釈を行う上で、強弱、アーティキュレーション、音色、バランス、そして時にはテンポにおいてもコントラストをつけることはとても重要だということをお覚悟しておきましょう。

まず何よりも、ショパンの指導と演奏において、シンプルさがもっとも重要だということをお忘れないようにしましょう。ピアノであってもフォルテであっても、朗々とした豊かで上品な響きは、ショパンの美学において重要な要素です。また、声楽的なフレージングも、ショパンの語り口に非常に特徴的といえるでしょう。ピアノでももっとも歌ってください。

●審査員 C

才能豊かで、繊細さも兼ね備えた演奏をいくつも聞くことができました。自発性や自然さはもちろんですが、音質やアーティキュレーションにも注意を払い、フレーズの頂点に向かって弾けるように心がけましょう。どんな音でも、腕を使い鍵盤の底まで届く奏法が大切です。

●審査員 D

丁寧な演奏を心がけている人がとても多いと思いました。弱音でも、客席の隅まで届くようにできるとよいです。音の響きについて、高音部の音を出せていない人が何人かいらっしゃいました。空間の大きな場所での音作りも見つめ直してみてください。

●審査員 E

とても表現力のあるテクニックも安定している演奏が多かったです。それぞれの方の曲への思いが良く伝わりました。演奏の表現を更に上げる為には、音色の違いをもっとタッチの変化で表現できるといいですね。強弱だけでなく、音の細かい響きの違いを追求してみてください。特に弱性の音にもっと種類がほしかったです。是非、これからもがんばってください。

●審査員 F

全体的に皆さんよく勉強されていて熱心に練習を重ねられている印象でした。ステージでも緊張していることも感じさせない自身の楽しむ演奏をされている方が多かったと思いました。さすがアジア大会へ残られたメンバーだと思いました。選曲も大変興味深くきかせて頂きました。アマチュアの皆さんがこの様に弾いているのをみて、これからもこのコンクールを受けてくる方々の将来が楽しみなのとコンクールへの期待も感じられます。ホールが小規模でピアノが小さかったのですが、皆さん1人1人がその環境でその楽器をコントロールして、良い音をならしていたことも印象的でした。良いカテゴリーだと感心してきかせて頂きました。